

## 担い手の経営のライフステージに応じた支援

 (9) J A熊本経済連の農機具シェアリース事業への費用助成の取組み
農林中央金庫 熊本支店（熊本）

新規	継続
○	( 年 月 )

1 動機(経緯)	<p>熊本県下では、農業者の高齢化・後継者不足等の全国的な問題に加え、震災の影響により農作業受託を行うオペレーターが不足し、農機具を保有していない農業者を中心に、営農の負担が増加しています。</p> <p>そのようななか、J A熊本経済連が熊本県独自で、農機具（コンバイン）の共同利用により、農業者の負担を引き下げる取組みを計画・実証実験するに至りました。</p> <p>本取組は、J A熊本経済連の取組に対し、熊本地震からの地域復興に資する取組みに、最大5百万円の費用助成を行う「熊本地域復興応援事業」にて、支援を実施したものです。</p>
2 概要	<p>以下①に示すJ A熊本経済連の取組に対し、2のとおり助成を行い、共同利用コンバインについての利用者負担を軽減しました。</p> <p>1 J A熊本経済連の取組内容</p> <p>本事業は、J A熊本経済連が組成する「第2シェアリースチーム」による、コンバインの広域農機共同利用に関する実証実験の取組です。</p> <p>2020年度にシェアリース事業の本格稼働を目標としており、当事業にて利用料金や県下での利用面積等を検証しているところです。</p> <p>農地の担い手不足や、他者の農作業を請け負うオペレーターの不足が著しいなか、地域の農業生産力を維持・拡大させる効果について、期待が持たれています。</p> <p>2 農林中央金庫 熊本支店の助成内容</p> <p>上記の取組みが、熊本地震により離農・他者への営農委託が加速した熊本県域において、地域の復興を強く後押しする取組みであることを踏まえ、実証実験にかかる費用7百万円のうち、約3百万円の助成を実施しました。</p>
3 成果(効果)	<p>実証実験の利用者からは、購入からシェアへの切替による費用低減の効果や、最新機械を利用できることについて、大変好評をいただいています。</p>
4 今後の予定	<p>今回の費用助成は、J A熊本経済連が今後この取組みを本格稼働させるための足掛かりとなっており、将来的にはより多くの農業者の経営負担を軽減するとともに、地域の農業生産力を維持・拡大させる見込です。</p>